

財務状況を全般的に説明する資料

◆ 事業活動収支計算書の予算対比について

教育活動収支の収入は186,073千円の増となり、内訳は、学生生徒等納付金11,109千円の減、手数料8,361千円の増、寄付金355千の増、経常費等補助金93,509千円の増、付随事業収入35,641千円の増、雑収入59,316千円の増です。

教育活動収支の支出は15,884千円の増となり、内訳は、人件費357,267千円の増、教育研究経費49,777千円の増、管理経費71,560千円の減、徴収不能額等319,600千円の減で、人件費の増加と徴収不能額等の減少が大きく影響しております。結果、収支は予算比170,189千円マイナス幅の減少となりました。

教育活動外の収入は8,214千円の減で、主な要因は収益事業収入5,479千円の減です。教育活動外の支出は2,033千円の減で、結果、収支は6,181千円マイナス幅が増加しました。経常収支差額については、予算比164,009千円マイナス幅が減少しましたが、719,886千円と大きなマイナスとなりました。

特別収支については予算の計上がなく、特別収支の収入は25,217千円となる一方、特別収支の支出は99,855千円となり、結果、収支は74,638千円マイナスとなりました。過年度修正額78,718千円が大きく影響しています。

基本金組入前当年度収支差額は予算比89,370マイナス幅減少で794,524千円マイナスとなりました。基本金組入額につきましては予算比837,358千円増加の1,454,758千円となっています。

◆ 事業活動収支計算書の前年度対比について

教育活動収支の収入は389,553千円の減となり、内訳は、学生生徒等納付金218,707千円の減、手数料5,360千円の減、寄付金93,648千円の減、経常費等補助金43,264千円の増、付随事業収入117,106千円の減、雑収入2,003千円の増です。学生生徒等納付金減の主な要因は大学等の募集が低迷したことです。寄付金の減少は今年度福島医療専門学校の一般寄付金がなかったのが主な要因です。経常費等補助金の内訳は国庫補助金が61,905千円の増、都道府県補助金が23,698千円の減、市町村補助金が103千円の減、その他補助金5,160千円の増となっています。付随事業収入減少は寮費など補助活動収入117,200千円の減が主な要因です。雑収入2,003千円増は私立退職金財団交付金収入の増2,013千円が主な要因です。

教育活動収支の支出は243,901千円の減となり、内訳は、人件費501,839千円の増、教育研究経費783,751千円の減、管理経費12,393千円の増、徴収不能額等は25,618千円の増です。人件費の内訳は、教員人件費292,845千円の増、職員人件費195,840千円の増です。教育研究経費は東京キャンパスの業務委託契約終了などにより報酬委託手数料1,042,875千円の大幅減が大きく、増加要因は設備投資増大による減価償却額112,881千円の増などがあります。管理経費では東京キャンパスなどの留学生紹介手数料他で支払手数料が72,492千円増加し、減少要因としては報酬手数料52,749千円の減と補助活動事業支出34,480千円の減などがあります。

教育活動外の収入11,810千円増は受取利息・配当金の増が主な要因です。

教育活動外の支出8,986増は借入金利息など金融費用の増加分です。

結果、収支は2,823千円マイナス幅が縮小しました。

経常収支差額については前年比142,830千円悪化し719,886千円のマイナスとなりました。

特別収支の収入は825,791千円の大幅減で、減少の要因は前年度福島医療専門学校の合併による現物寄付の影響です。特別支出は77,406の増で過年度修正額の増加がその要因です。結果、収支差額は前年度比911,513千円の大幅減となりました。

基本金組入前当年度収支差額は1,054,343千円の大幅減となりました。

基本金は、前年度組入額比170,414千円の減で1,454,758千円の組入れとなりました。